

1 学校の重点目標

- ・ 「学びに向かう力の育成～主体的・対話的で深い学び」のある授業を実践する。
- ・ 汗を流して働く活動の充実を図り、思いやりや社会性などの豊かな心を育成する。
- ・ たくましい体力・気力づくりと健康・安全意識を高める教育を推進する。

2 課題と改善策

	評価項目	評価	評価結果と改善方策
学校経営	教育目標の具現化・教育課程の改善・充実	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1校1改革「自らあいさつ・対話の推進」に取り組んでいる。対話では、1学期は、「聞く」ことに重点を置いて取り組んだ。 ・ 教職数減少に伴い、複数体制で連携を図りながら仕事を進めることができた。 ・ 家庭訪問の廃止、教育相談の充実、授業時数の見直し、校時表の見直し（ボランティア時間）、グーグルフォーム等の活用など業務改善が大きく進んだ。R7の行事計画見直し
	校務分掌組織の機能化と活力ある教育活動の推進	2.9	
学習指導	授業・教育内容の改善	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、習得・活用・探究のバランスを工夫した授業改善に取り組む必要がある。 ・ NRTでは、13%以上のアップが見られたが、引き続き、個に応じた学習習慣の定着に努めていきたい。ICTの効果的な活用推進。 ・ 魅力ある読書に親しむ活動が効果的に実施中。全学年でタブレットによる市立電子図書への活用も図られつつある。
	基本的な学習習慣の形成・家庭学習の充実	2.9	
	読書指導の充実	3.5	
生徒指導	学級経営の充実	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題が生じると迅速にチームで対応することができた。引き続き、早い段階での情報共有と児童の「共感的な人間関係の構築」につなげていきたい。 ・ 道徳コーナーの充実を更に図り、保護者への道徳授業の公開を引き続き、実施。
	基本的な生活習慣/心に届く生徒指導	2.9	
	道徳教育・特別活動の充実/ふれあい活動の推進	2.8	
保健指導	教科体育の充実・体力作りの推進	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1校1運動「なわとび」に朝の時間を活用して取り組むことができた。二極化への具体的な対応実施（運動の生活化を図る） ・ う歯治療を保護者と連携して進めていきたい。「朝食」を取らない児童への働き掛けとメディア時間減少を保護者と連携して取り組む。（学校保健委員会との連携） ・ 校区安全点検の確実な実施とマップの作成。楽しい給食の時間が確保されている。
	生活習慣の育成	2.9	
	安全指導/給食指導	3.1	

その他	幼保小連携/特別支援教育の推進	3.2	・ 「会場校」としての連携推進。特別支援教育コーディネーターの効果的活用
	人権同和教育の推進	3.2	・ 人権同和教育は、全校体制で取組中。
	郷土教育・人材活用	3.0	・ 学校支援ボランティア活用を図った。
	国際理解・AEA活用	3.1	・ 計画的にAEAを活用した。苦手な児童への具体的な働き掛けを推進。
	環境整備・清掃指導	2.7	・ 「掃除の仕方」を重点的に指導中。
	PTA活動の充実	2.9	・ PTAにおけるデジタル化・スリム化と効果的連携を図る。(九州地区表彰)
	校内研修 個人研究(出張等による研修)	3.1 3.1	・ 「学びに向かう力の育成」2年目における具体化の推進 ・ 積極的な研修申し込みについての個別の語り込み

3 次学期に向けての取組

- 様々な取組を通して、業務改善を具体的に進めることができた。今後さらに取組を進め、働きやすい職場づくり、何でも相談できる人間関係づくり(対話の推進)を進めたい。
- 「児童が自ら気づき、考え、行動できる」ための仕掛けを2学期の各行事等を中心に進めていきたい。